

## 楽しかった「サニーヒルすげさわ」訪問

四年 齋藤 煌

ぼくたちは、総合の学習で「本沢元気隊」になって、一学期に城山公園の草取りをがんばりました。二期は、地域のお年寄りの方々に直接会って、「元氣」をあげようということになり、「サニーヒルすげさわ」を訪問することになりました。話し合いをして、学校紹介、クイズ、ゲーム、学習発表会の「ソーラン節」、そしてふれ合いタイムで肩もみをしてあげるようになりました。しおりを作ってプレゼントをすることにもなりました。ぼくは、楽しんでもらいたいと思って、柊希君と「ゲーム係」になりました。何のゲームをやるのかなやんでいると、

「じゃんけんゲームがいいんじゃない？」

と、友達が言ってくれました。そして、勝った人にプレゼントをあげたいと思い、折り紙で輪飾りをいっしょけんめい作りました。いくつ作ったら数が間に合うか柊希君と相談しました。そして、できあがると長さが大じょうぶか、先生の首にかけてみました。

リハーサルの日。ぼくらの番が来ました。お年寄りの方だから、大きい声でわかりやすく話そうと思いました。そして、終わると、

「声を大きく。」

「もうちょっと、ゆっくり。」

など、みんなが的確なアドバイスをしてくれたので、うれしかったです。

そして、本番の日。菅沢までは遠かったけど、話をしたり、紅葉の景色を見たりしながら行ったので、わりと早く着いた気がしました。りん君の家も教えてもらいました。行ってみると、たくさんの方がいて、びっくりしました。車いすにすわっている方もいました。初めに、学校紹介や、学習発表会でやった「ソーラン節」をひろうしました。おどる時に、後ろの人達が見えるかな、とちょっと心配でした。ぼくたちの歌や演そう、おどりに合わせて、手拍子をしたり、いっしょに口ずさんだりしてくれたので、きんちょうがとれてきました。「すごい！」

「じょうずだね。」

などと言って喜んでもらえたので、よかったです。次の、凜君の本沢クイズも好評でした。

そして、ゲームです。

「じゃんけんゲームをします。三回勝った人に、輪飾りをプレゼントします。」

と、説明をしてから始めました。

「最所はグー、ジャンケンポン！」

みんな、楽しそうでした。三回勝った人が一人だけだったので、二回勝った人にもあげることにしました。あちこちにいたので、渡すのに走り回って大変だったけど、輪飾りをかけてあげると、

「ありがとう。」

と、喜んでくれました。

ふれ合いタイムでは、肩もみをしました。

「もんでほしい所はありませんか？」

と言うと、

「どこでもいいよ。」

と返事をしてくれました。

「名前は？」

とか、聞いてくれたので、

「斎藤煌です。」

と答えました。

「上手だよ。」

と、何人もほめてくれました。そして、名刺を渡すと、

「ありがとね。」

と言って、泣き出す方もいて、本当にうれしかったです。

地いきのお年寄りの方々とふれ合えて、こんなに喜んでもらえたので、みんなで準備や練習をしてよかったなあと思いました。この「サニーヒルすげさわ訪問」は大成功でした。